武陵会会報

通巻 第80号

■編集発行　武陵会広報担当
佐賀県立武雄高等学校 武陵会事務局内
〒843-0022
佐賀県武雄市武雄町武雄5540-2
TEL･FAX 0954-23-3712
http://www.buryokai.com
E-mail:buryokai@cableone.ne.jp

■卒業生総数　35,671人（2023年４月現在）

表紙に思ふ

武陵会会報通巻第80号となりました。昭和49年に発刊以降、武雄高校100周年を迎えるまでは事務局（武高に勤務する先生方）によって発行されていたと聞きます。現在は武陵会役員を中心に、会員の皆様のご協力を得ながら作成し、会報誌をお届けしています。

さて80号という記念すべき表紙には校舎の今昔をあしらいました。多くの方が見覚えのある体育館は築60年という記録的なもので、今なお現役です。御船山の麓で西九州新幹線を見下ろす高台に、古き良き時代と変化する未来を武雄高校はこれからも見守り続けることでしょう。

なお、左下のQRコードから掲載の写真を見ることができます。

ごあいさつ

武陵会　会長
徳永 壯太郎
（高20回）

武陵会会員の皆様方には日頃より会の活動にご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

今春、多くの皆様にご参集頂き、実に4年ぶりに総会を武雄市文化会館にて開催する事が出来ました。総会に引き続き「新聞記者はおもしろい」というタイトルで金丸泰輔氏（高32回）には大変興味深い講演を頂きました。また当番幹事の皆様のご努力により地元企業様や多くの方々から多数の協賛品を頂戴し、総会参加者の皆様に喜んで頂きました。あいにく会場の都合により武陵会全体での懇親会開催は叶いませんでしたが、総会終了後に卒業年度ごとに小グループに分かれての懇親会ではどの会場も大変な盛り上がりだったとお聞きしております。

6月以降には全国の支部総会懇親会が和やかに盛大に開催され、3年間のブランクをものともしない武陵会の結束をあらためて確認出来たことと思います。

令和6年度の武陵会総会は、出来る限り懇親会も併せた御案内が出来るよう本部役員一同、只今鋭意取り組んでおります。いずれにしましても、会員の多くの皆様にご参加頂きますよう心よりお願い申し上げます。

我らがふるさと武雄には大空を背に悠然と聳える大楠の木が在り、訪れる者を圧倒しています。全国巨木第5位を誇る樹齢三千年以上と云われる国の天然記念物「川古の大楠」をはじめ、同じく樹齢三千年以上の武雄神社の御神木「武雄の大楠」、樹齢二千年を超えると云う「塚崎の大楠」、県内いや国内でこれだけの大楠が揃っている場所は武雄の他に類をみません。

三千年という時の長さに思いを馳せてみてください。悠久の時空を超えてふるさと武雄を見守ってきた巨木たちの前に立つと、大自然の生命力と神々しさに思わず手を合わせ自己を顧みずにはいられません。

我らが武雄高等学校は、後に武雄鍋島家となった後藤氏の居城塚崎城の城址の大半に位置しています。かの徳川家康が立案した元和の一国一城令（1615年）により廃城となり、現在では石垣や堅堀、御庭窯跡を残すのみですが、塚崎の大楠はその城下で長年人々から崇められてきました。落雷のため幹の上部を失っても尚そのスケールと風格を保つ圧巻の雄姿がそこにあります。

ふるさと武雄の大地に根ざし太陽と雨の恵みを受けながら万古千秋幾多の困難をも乗り越えてきた大楠の如く武陵会並びに武雄高等学校が未来永劫発展していきますよう皆様の御協力を今後共宜しくお願い申し上げます。

令和5年度 武陵会役員の紹介

会　長	徳永壯太郎	高20回
副会長	篠田いつ子	高20回
副会長	田中　友子	高25回
副会長（新）	三根　恭子	高29回
副会長	原田耕三郎	高30回
副会長	室原　憲一	高32回
副会長（新）	野田　真司	高49回
事務局長（兼任）	室原　憲一	高32回
事務主任	藤井　理恵	高41回
事　務	山口　操子	高37回

武陵会の皆様へ

武雄高等学校校長
下村 昌弘

今年4月に北村敬校長の後任として着任いたしました。私自身、平成7年からの7年間、武雄高校に勤務させていただき、今、古巣に戻った喜びを大きく感じているところです。

前回の勤務時は三十代になったばかり。自分で言うのも恥ずかしいのですが、教師として最も勢いがついてきた時期だったのではないかと思います。たくさんの優秀な生徒様と温かな保護者様に支えられて、充実した教師生活を送ることができました。私の教師として基本的な素地はこの武雄高校で固めていただいたと思っています。

おそらく今回は教師として最後の任地。教員生活の集大成のつもりで頑張りたいと思います。

さて、今年5月、新型コロナ感染症はインフルエンザと同じ扱いに変わり、過去3年間悩まされてきたコロナ禍の非日常に

Otec
http://otec-saga.com

船舶・橋梁用部品、機械金属の製造
株式会社 オーテック
代表取締役　大渡　幸雄　（高24回）
本社・工場：佐賀県武雄市山内町鳥海8790 〒849-2302
Tel：0954-45-2588㈹　Fax：0954-45-2589
info@otec-saga.com
伊万里工場：佐賀県伊万里市黒川町塩屋5-83 〒848-0121
Tel＆Fax：0955-27-0780　imari@otec-saga.com

一つの節目が訪れました。学校においてもこれまでの感染症対策は継続しながら、この３年間で創り出した新たな教育手法を生かし、さらに磨き上げた形で従来の教育活動を新展開させているところです。

武陵会におかれましても、今年度は各支部で対面による総会と懇親会が再開され、副校長や事務長の協力を得ながらすべての支部総会にご挨拶に伺えたことはうれしい限りでした。行く先々で連綿と続く武陵山脈の大きさを目の当たりにし、同窓の皆様方の母校への自負と期待の大きさに改めて身の引き締まる思いがしました。

本校は、これまで同窓の皆様が築き、受け継いでこられた「質実剛健」「報恩感謝の誠を尽くす」の気風を今なお大切にしております。そして昨今では〝唯一無二〟の学校づくり、〝普通科改革〟に着手し、地域の名門校としての名に恥じぬよう、質の高い〝文武両道〟、社会につながる〝志高い学び〟を推進することを本校の強みとしています。

こうした中、団体・個人の別はありますが、今年度も少林寺拳法を初め、弓道、相撲、美術、写真、吹奏楽、囲碁、放送、書道等、全国大会や九州大会で多くの生徒が活躍しています。また、野球、サッカー、バスケット、バドミントン等は県内でも上位に食い込む実力を身につけその成果を着実に伸ばしつつあります。

進学実績においても、国公立大学を中心に私立大学等も含め、一人一人の生徒が自分の進路希望を達成しています。なかでも総合型・学校推薦型と呼ばれる入試制度を利用し、自分の高校時代の学びの実績（高校時代にどういう問題意識を持って学習し、大学でそれをどう膨らませたいかを示すこと）によって進路を勝ち取っていく生徒が増えつつあります。

この背景には、例えば武雄市と協働した〝まちづくり参画事業〟、日本経団連が主導する〝高校生のための次世代リーダー養成塾〟、ＪＩＣＡが主催する〝高校生国際協力実体験プログラム〟等、本校が校外での活動への積極的な参加を奨励するなど、いわゆる〝探究〟を大切にした教育活動を推進していることに起因していると考えています。

今や文武の〝武〟が部活動だけを指す時代ではなく、最も自分らしい活動そのもの、スポーツ、文化・芸術、生徒会、まちづくりやＳＤＧｓなどの社会課題等、自分が一番興味・関心がある分野に熱中しそこを深掘りする姿がよくみられるようになってきました。

こうした状況を含め、学校ホームページでは時機を逃さず、生徒たちの活躍や学校の動静について情報発信をしていますので、ぜひ同窓の皆様にもご覧いただき、ご声援いただければ幸いです。

学校HPのQRコード

昨年秋、西九州新幹線が開通し、学校からは新幹線の様子を一望できます。武雄温泉街をくぐり抜けていく〝かもめ〟の姿はなかなかいい風景です。また逆に新幹線の車窓から見える御船山を背負う本校の姿もなかなか乙なものです。ぜひ一度足をお運びください。

むすびになりますが、引き続き、母校武雄高校へのご理解とご支援を賜りますようお願いするとともに、武陵会会員の皆様のますますのご健勝とご発展を祈念しています。

第74回 武陵会総会を終えて

実行委員長　高22回　石丸　定

武陵会会員の皆様元気にお過ごしでしょうか？　わたくしは今回総会の実行委員長を務めさせていただきました22回生の石丸定と申します。

実は３年前の71回武陵会総会の実行委員長を拝命いたしておりましたが71回、72回、73回とコロナ禍や諸般の事情（懇親会を開催できる会場の確保）により総会を開催できな

谷口眼科婦人科
武雄市武雄町大字武雄 385-2
眼　科 ☎(0954)23－3130
婦人科 ☎(0954)23－3170
谷口眼科婦人科　検索

伊万里眼科
伊万里市新天町 460-11
☎(0955)21－0160
伊万里眼科　検索

理事長　谷口　亮（高 44 回）　院長　谷口　憲（高 48 回）

かったことをまずもってお詫び申し上げます。

今回の実行委員会も末尾２の22回、32回、42回、52回、62回の卒業生でこれまで会議を行って参りました。今回の総会は武雄市文化会館の小ホールにおいて篠田いつ子副会長による開会の辞に始まり、物故者追悼の後、来賓紹介、徳永壯太郎会長挨拶、下村昌弘武雄高校校長による武雄高校の校是「質実剛健、報恩感謝」の基、在校生の現状報告や今後の武雄高校の取り組みなどをお話頂きました。

第一部の総会の議事、講演会は32回生に受け持っていただき、事業報告、予算案審議、役員改選に対する質疑応答など慎重審議の上に御承認頂いきました。又講師の日経プラザ＆サービス代表取締役社長金丸泰輔氏には、演題『新聞記者は面白い』～私が出会った事件・有名人～と普段聞けない裏話を含めて有意義なお話をして頂きまして改めまして御礼申し上げます。有難うございました。

第二部は42回生に担当していただきました。今回は懇親会を開催できずにアトラクションのみの開演となりましたが武雄高校吹奏楽部の皆さんの演奏を楽しんでいただきました。その後に徳永会長をはじめ会員の皆様より提供いただいた商品のお楽しみ抽選会を行うことができました。

最後に、帰りの際に吹奏楽部の後輩の皆様に対する感謝の気持ちのドネーションを頂き高校に寄付することができました。

今回懇親会は出来ませんでしたが２００人を超える参加者にお集まりいただき有難うございました。総会の後で各回毎の卒業生だけで懇親の場を設けての夜の武雄を楽しむ先輩たちの姿がありました。

『思い出の一枚』

高27回　鳥越　弘幸

昭和49年の夏ごろ撮ったものだと思います。当時の剣道部３年同級生の５人です。右から楠田哲生君、私（鳥越）、中村淑子さん、木寺弘年君、北川重明君。剣道家の正装は垂にネームを着けるので分かり易い。来る日も、来る日も稽古に明け暮れた、高校３年間。楽しい思い出は、毎日の稽古が終わって帰り道、高校前の歩道橋を渡った所にお店があり、そこでみんなでワイワイ騒ぎながら味わう冷たいコーラかジュース１本。これがたまらなく美味かった。（後にこれがビールと変わっていくわけですが。）

この５人は、今でもＯＢ会、同窓会、同期会で顔を合わせます。昔のかけがえのないつらい思い出や、楽しい思い出を語り合う事が出来る大切な仲間です。

お知らせ

全体総会

●第75回 武陵会総会

日時　令和６年５月19日（日）
会場　未定

次回の当番幹事は卒業回の末尾に「３」が付く回の皆様方となります。皆様お誘い合せの上ご出席下さい。

支部総会

●東京支部総会

日時　令和６年６月９日（日）
会場　未定

●東海支部総会

日時　令和６年６月15日（土）
会場　名鉄グランドホテル

●関西支部総会

日時　令和６年６月30日（日）
会場　ホテルグランヴィア大阪

●福岡支部総会

日時　令和６年６月23日（日）
会場　ホテルニューオータニ博多

●長崎支部総会

日時　令和６年６月15日（土）
会場　サンプリエール

●多久支部総会

日時　令和６年９月28日（土）
会場　多久公民館

ASMORE
Growing & Glowing
アスモア税理士法人
代表税理士　城野 幹丈（高19回）
城野オフィス　〒849-1415　嬉野市塩田町大草野丙1996番地1
TEL 0954-66-3931㈹　FAX 0954-66-3033
e-mail　jono@mocha.ocn.ne.jp

支部だより

東京支部

武陵会東京支部 当番幹事
高46回 馬渡 真吾

『4年ぶりの東京支部総会』

6月11日(日)、東京ガーデンパレスにおいて東京支部総会を開催致しました。新型コロナウイルス感染症により三度の延期を余儀なくされ、4年ぶりの開催となった今年の総会は、197名もの待ちに待った同窓生が集い、超満員の会場で盛大に開催することができました。また、今年の総会は、幹事学年だけでは人数的に準備・運営が難しいことから、幹事学年を中心とする実行委員会を立ち上げ、諸先輩方の積極的なご協力を得ながら進める、新しい方式で取り組みました。

総会ではまず、この4年間でお亡くなりになった物故者に哀悼をささげるとともに、緒方浩二郎支部長(高17回)の挨拶で幕を開けました。続いて、堀内守事務局長(高20回)より、常任幹事会で次期支部長候補となった古川光さん(高23回)の紹介があり、古川さんが新支部長になることが承認されました。また、ご来賓を代表して、徳永壯太郎武陵会会長、小松政武雄市長、下村昌弘武雄高等学校校長よりご挨拶をいただき、懐かしい故郷に思いを馳せる時間となりました。

この後、高42回卒で、東京都新型コロナウイルス感染症対策審議会の委員としてご活躍されている、大曲貴夫・国立国際医療研究センター長に、「新型コロナウイルス感染症の現状と今後の対応」と題して、ご講演をいただきました。武雄高校の卒業生が、東京都の新型コロナウイルス感染症対策の中心でご活躍されていることを誇らしく思うとともに、タイムリーな話題だけあって参加者全員が興味深く拝聴し、終了後に実施した参加者アンケートでも非常に好評を博した講演となりました。

続く懇親会は、藤森妙子さん(高8回)に、ユーモアの中にも愛校心にあふれる乾杯のご発声をいただき、和やかにスタート。同級生同士、あるいは先輩・後輩と杯を重ね、懐かしい話や近況報告に花が咲きました。今年は20社・個人のご協力を得て、故郷の懐かしい物品・食品をはじめとした協賛の品々を提供いただきました。お陰様で、事前の抽選により参加者全員に協賛品が行きわたり、総会参加のよい記念の品となりました。

会場内では、懐かしい地元の食品の販売もあり、買い物を楽しまれる方も多く、盛況につき早々に完売となりました。また、今回初めて「マッチングコーナー」として、共通の業種や趣味などで交流を図るコーナーを設置し、貴重な情報交換の場となったようでした。

懇親会の後半には、恒例となった「チロリン節」を、参加者全員が両手に皿を持ちながら輪になって踊り、盛り上がりもピークに。旧制武雄中学校、高等女学校も含めた校歌斉唱では、皆で声高らかに歌い上げました。懇親会の余韻と名残惜しい雰囲気が残るなか、前回幹事の西山泰孝さん(高45回)の万歳三唱を経て閉会。続いて、参加者全員そろっての写真撮影を行い、来年の再開を誓い合いました。

4年ぶりとなった今回の東京支部総会。お陰様で無事に終えることができ安堵するとともに、ご協力いただきました先輩方、関係の皆様に対し、学年幹事を代表して心よりお礼を申し上げます。

受章おめでとうございます

下平幸二さん(高23回)が、令和4年秋の叙勲で皇居にて瑞宝重光章を受章されました。下平さんは、防衛大学校卒業後、航空自衛隊に入隊され、防衛省の情報本部長、内閣官房の内閣衛星情報センター所長など国防に務められました。

おめでとうございます。

下平幸二さん裕子さん(高23回)ご夫妻

0歳0カ月児の虐待死ゼロを目指して

社会福祉法人 ゆたか

816-0911 福岡県大野城市大城４丁目152-9

理事長 武内 保民 (旧:光武 武高20回卒)　評議員 有森 和彦 (武高22回卒)
評議員 阪田 保隆 (武高20回卒)　評議員 光武 一則 (武高40回卒)

東海支部

武陵会東海支部 事務局長
高26回 草場 泰治

『東海支部総会』

気がかりな天気は五月晴れ。4年ぶりの皆が待っていた第8回武陵会東海支部総会。

6月17日土曜日、名古屋駅ナナちゃん人形のすぐ横、名鉄グランドホテルにて開催しました。ご来賓として武雄高校校長下村昌弘様と武陵会副会長原田耕三郎様をお迎えし、久しぶりに旧交を温めた一日となりました。

開会は12時の予定。一足先に集まった役員幹事の方達と会場設営を進め、受付に丸ぼうろ・小城羊羹・嬉野茶を並べると、「これ買えませんよね？」と隣の受付（他団体催し）の方からお尋ね。やんわりとお断りする内に、一組目が10時半に来場。

時間が経つにつれロビーのあちこちで、話の花が咲きだします。開幕直前には全員揃っての写真撮影。今回は総勢33名が合図とともに微笑みました。

集合写真はお土産として閉会時に配ります。これまでずっと役員の方達が総会中に手分けして準備し、ご出席の皆様に喜んで頂ける東海支部流のおもてなしです。

総会は松尾島雄副支部長の司会で始まり、田原慈朗支部長の挨拶でコロナ禍での活動や世代交代への想いを紹介。議案審議は下平謙二事務局長に、会計報告は青島ミサヲ様に説明頂きました。新体制役員としては26回卒の4名が新任のご承認を頂きました。

新支部長に北村文男さん、新会計に芳野典子さん・奥村喜久子さん、新事務局長に草場泰治となりました。

続いて北村新支部長より、支部の現状・抱負・若い世代の参加促進を説明頂きました。ご来賓の下村昌弘校長には学校のHPにて、現状を紹介頂きました。益々「明日の時代をになう」後輩が巣立っている事に、全員が大きな誇りとしています。原田耕三郎副会長には4年ぶりの本部総会が、課題の多い中での開催と紹介頂きました。

ご出席の皆様には一言ずつ、順番にお話し頂きました。その中で若い世代の方から「今後は周囲に総会参加を呼び掛けたい」とのご挨拶。一同大いに盛り上がりました。

お楽しみ会のクイズは、日本三大陶器祭りを設問。有田陶器市・せともの祭（愛知）・3か所目は何処？・・クイズが終わると既に閉会時間の間際。いよいよ校歌斉唱です。今回は本部総会での現役吹奏楽部の校歌演奏を映写。上手な演奏で歌声にも一層の力が入りました。

今回を以って、新体制へとバトンが引き継がれました。東海支部を永きにわたり支えて頂いた諸先輩方には感謝の念に堪えません。今後の活動を担い次の走者に繋げたいと思います。来年の東海支部総会へも多くの皆様にご参加頂ける様に、準備を進めて参りますのでよろしくお願いします。

追伸　陶器祭り3か所目は土岐美濃焼まつり（岐阜）です。萬古焼（三重）も有名で、東海は焼物が盛んです。故郷に少し似ています。

関西支部

武陵会関西支部 事務局長
高16回 森園 泰之

『第48回関西支部総会開催』

6月25日、ホテルグランヴィア大阪にて関西支部総会・懇親会を開催しました。出席者総数は93名と、コロナ状況の改善もあり、例年並みの数でした。

来賓は本部より徳永壮太郎会長と室原憲一副会長、高校の下村昌弘校長、佐賀県関西・中京事務所の藤田豊所長、関西佐賀県人会の八田信男会長を迎えました。出席者には、東京・九州からと招待学生5名もいました。

以下、支部総会・懇親会の様子です。

会場正面に吊り看板、後方に御船山と武雄温泉楼門のタペストリー、歴代の校門写真パネル、各テーブルには出席者全員へのウエルカムカード、例年通りです。今年から、吊り看板の揮毫者が中山鉄司さん（高7回）から岡橋美子さん（高17回）に引継がれました。11時半、武高校歌のBGMを流し、会場への入場開始。

正午、藤謙一郎さん・西本八千代さんの同期コンビ（高24回）の司会で総会開始。

物故者に対する黙禱、関西支部支部長中村重人さん（高

医療法人
正木産婦人科
理事長 正木秀信　理事 正木惠子（旧姓 永尾・高20回）
夫婦で良いお産
〒581-0831 大阪府八尾市山本町北1-2-22 TEL 072-922-4103 FAX 072-990-5118

20回)の開催挨拶、そして来賓の皆さんから挨拶を頂いた後、事務局からの議事・報告で総会は予定時間通り終了。

小休憩の後、関西支部顧問星野鐘雄さん(高10回)による乾杯の挨拶・発声により懇親会が始まりました。今年は昨年と違い、同じテーブルでの同期達との会話だけではなく、テーブルを移動して知人達と立ち話する姿が各所で見られました。正に懇親会です。飲食・歓談中にも、各テーブルでの同期集合写真の撮影、そして、タペストリー前での校区毎の集合写真の撮影と続き、皆さん、大変忙しい懇親会です。

後半には、関西支部として初めて実施した福引会です。進行は井手敏久さん(高17回)と金谷静子さん(高25回)。軽妙なトークで会場を沸かせ、会場一体となり大盛況でした。景品提供については、徳永壯太郎武陵会会長・角良孝さん(共に高20回)にもお世話になりました。有難うございました。

福引の余韻が残る中、招待した学生５名が登壇し、全員の自己紹介と代表挨拶。皆さん実に上手で、喝采を浴びていました。

いよいよ、クライマックスの校歌斉唱です。杉澤正弘さん(高10回)の音頭で始まりました。今年は昨年とは違い、集団での斉唱が可能となり、檀上組、タペストリー前組そして各テーブルの会場全体が一体となった例年の校歌斉唱でした。そして15時、高揚感の中、田中隆さん(高５回)の閉会の辞。例年通り見事に閉まりました。

閉会後も、会場各所で、名残惜しく話し込む姿もありました。ホテル内の二次会会場での歓談、梅田各所への繰り出し等々、皆さん夫々ですが、最後は、皆さん来年の再会を約しての別れです。

〝来年も、元気で、会場で会いましょう〟

福岡支部

武陵会福岡支部 事務局長
高24回 岸本　洋

『福岡支部第62回総会・懇親会開催』

否応なく各種活動の自粛・制約を余儀なくされ続けた世界を揺るがしたパンデミック「コロナ禍」の約３年間でしたが、去る令和５年６月25日(日)４年振りに福岡支部でも数えて第62回目の待ちに待った支部総会・懇親会の開催に漕ぎつけることができました。

梅雨時ではありましたが幸いお天気にも恵まれ、武陵会本部、武雄高校本体からのご来賓恩師の先生方もお迎えし、福岡県下、更には地元佐賀からの域外参加の皆さんも含めて総勢87名による賑やかな開催となりました。

出席者の顔ぶれはバラエティに富み、昭和31年(高校８回)卒業から令和４年(高校74回)卒業生まで広範にわたり、まるで祖父母と孫の語らいの様相を呈したやり取りも垣間見ることができました。

総会を滞りなく終了した後の懇親会では、就任後実質初仕事となった新任会長の思惑もあり恒例の講演会等は避け、極力会員おひとりおひとりの「ふれあい」の機会を増やし会員相互の融和を目指し、先ずは出身中学毎の記念写真撮影会を企画、世代を超えた交流を醸成しました。

更には卒業回毎のテーブル配置で旧交を温め合って頂き、勿論こちらも腕に覚えある同窓生専任カメラマンを配して、そこそこメートルも上がって上機嫌で楽しげな同級生の皆様同士のスナップ写真も撮影。何れの写真も早々に皆さんのお手元にお届けしました。

前回実施以降しばらく時間も経過しておりましたので、こ

山口　信介（高 27 回）

ビーチ乗馬体験　要予約（対象年齢：小学１年生～）

初めての方でも大丈夫！　30 分レッスン＋１時間外乗（ランチ付き）

金額　14,300 円（消費税込み、別途スポーツ保険 200 円）

カナディアンキャンプ乗馬クラブ

〒811-3501　福岡県宗像市神湊 44-1　※定休日　火曜日

TEL 0940-62-1912 FAX 0940-62-0012　MAIL ccr@canacan.jp

の数年間に起きたお知らせしたい会員さんのトピックスも幾つかピックアップし、皆様にご披露しました。

恒例の校歌斉唱前には喉慣らしも兼ねて全員参加で「上を向いて歩こう」の合唱を用意、「上を向いて歩こう」から校歌まで皆さん元気よく合唱していただきました。

新会長を中心に20名に及ぶ新旧幹事と協力者による幹事会を事前に複数回開催し本番に備えました。

まだまだこれからも課題は続出すると思いますが、支部そして本部の発展の一助となる様活動に邁進いたして参ります。今後ともご支援のほどよろしくお願いします。

長崎支部

武陵会長崎支部 支部長
高17回 山下 信彦

『第25回記念同窓会を終えて』

コロナ感染騒動で3年間中止せざるを得なかった同窓会をどのように復活させるかがスタートの課題でした。

今回25回記念同窓会になるので宣伝広告をプログラムの中に掲載して賛助金をいただき必要経費を算出することにしました。その結果13の法人、個人よりご協力いただき、支部運営の財政の一助になりました。誠に有難うございました。

さて6月17日(土)、4年ぶり開催致しました長崎支部25回記念同窓会は、果たしてどの程度の参加者になるのか不安でしたが、病気療養中、デイーサービス利用中等で欠席者もいましたが、前回並の参加者で、皆様顔なじみになり和気あいあいと楽しんで再会を喜んでいる様子がうかがえました。

ご来賓のご挨拶で母校武雄高等学校副校長、森 和隆様より現在の高校の文武両道にわたる活躍の内容、又武陵会会長、徳永壯太郎様は12年前渡航した北朝鮮の話、及び同副会長 室原憲一様は母校の御船山にそれぞれ名前があるのをご存知ですか、等の25回記念同窓会へのお言葉をいただき、記念写真撮影後休憩をはさみ、懇親会ではなごやかに会飲会食を楽しみながらのご歓談でした。

多久支部

武陵会多久支部 事務局長
高32回 原口 哲幸

新型コロナも5類に位置づけされて通常の生活が戻ってきたところですが、多久支部では4年ぶりに九月三十日に支部総会・懇親会を開催します。昨年の『武陵会報』に〝事務局の果てしない夢〟として支部総会を開催することを誓いましたが、支部総会懇親会を開催する運びとなり、万感の思いです。

支部総会では、母校の近況報告を受けますが、今年はどんな母校生の活躍を聞けるのか期待でいっぱいです。

また、懇親会では諸先輩方々の話、母校の近況等に花を咲かせ、そして一番の夢である新しい会員、若い会員の総会への参加があることを期待して止むことがありません。

そこで多久支部では試みとして、本年一月に刊行された「武陵会会員名簿」を活用し、これまでの支部会員名簿に載っていない会員を抽出しましたところ66名の会員候補がいることが判明しました。

この方たちをどう多久支部に参加していただくかを考え、先ずは多久支部総会・懇親会の案内を66名の会員候補の方にお送りし、その後も「総会議事録」や「多久支部だより」をお送りし武陵会多久支部へ興味を持っていただくことが第一と考えました。

多くの武高卒業生と懇親会の最後に校歌を斉唱することを夢見て、地道に活動を継続していく所存です。

『思い出の一枚』

高8回 中村(相川)直子

昭和30年9月の体育祭。クラス対抗リレーの第一走者の先生方です。

医療法人
さかた小児科クリニック
理事長　阪田保隆(高20回)
〒839-0841 福岡県久留米市御井旗崎1-3-33　TEL0942-27-8841　FAX0942-27-8341

同期生だより

高28回卒業生 45周年同窓会

とき　令和５年２月25日（土）
ところ　料亭　八百重

高29回卒業生 45周年同窓会

高29回　岩永　悟

とき　令和５年１月２日（月）
ところ　北方温泉　七彩の湯

標記同窓会は、北方温泉七彩の湯を会場に約50名の参加を得て、開催することができた。その概要をキーワードで記す。体育大会の時に踊った「岬めぐり」、思い出のＢＧＭ、過去の写真などを活用したストリーミング、恩師の前田勝行先生（高９回）のご臨席、出席者の近況スピーチ、献身的な実行委員の面々。少数だった分だけ、個々とじっくりひざを突き合わせて対話ができた。みんな年輪を重ね、利己から利他へと振舞の重心が移ってきている。その共有できた空間や時間が心にじんわりと残る、味わいのある同窓会となった。

記録によると、５年ごとに開催されてきた同窓会は多いときで２００名、普段は１００名程度の参加があったようである。今回の欠席の理由は、２類対応のコロナ禍のため、我が子や孫の里帰りのため、体調不良のため、など社会情勢や年齢を反映したものが目立った。それにしても卒後45年が経つにもかかわらず、同窓会が定期的に開催できていることに驚く。同窓会会長の原田一宏君を中心とする事務局スタッフの長年にわたる献身的な取り組みの賜物である。45周年は川登中出身が担当ということでわたくしもお世話の一端を担ったが、次回50周年は大町中出身が幹事となって開催される予定となっている。50周年は大きな区切りとなる。めでたいお祝いの会として大いに盛り上がるに違いない。

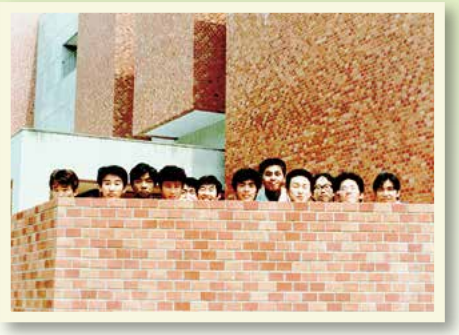
『思い出の一枚』

高32回　原口　哲幸

44年前の暑い夏の日の一コマです。

『雁首をそろえた写真を撮ろう』ということになり、武雄市文化会館テラスでの一枚です。何でこんなことをしたのか思い出せないのですが、話の成り行きということで、「ああ、青春だ!!」の一コマを撮ってみました（一名だけ肩が出ているのが私です　残念!）。

がむしゃらに受験勉強に勤しみながら、今風の「アオハル」を謳歌していたころの記念の一枚です。三年一組のみんな、元気にしていますか?



『思い出の一枚』大募集

●原稿の文字数　二百字以内
●写真の枚数　一枚
（締切日）　令和６年７月31日
宛先　武陵会事務局

同窓会を開こう!
幹事さんのお手伝いをいたします!
まずはご相談ください!
小野高速印刷株式会社
還暦同窓会・支部会
部活動OB・OG会
同　期　会
お問合せはこちら!
TEL.097-558-3444
https://www.ohp.co.jp
WEBツールを使って受付楽々!
ドローン空撮も承ります!

高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会

最高位 高円宮賞受賞　二年　古川　圓（まどか）さん

高円宮杯全国書道展での高円宮賞受賞を顧問の先生から伝えていただいたとき、うれしさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

受賞した後漢時代の古典「礼器碑」は、見た人が爽やかな気持ちになるようにという思いを込めました。私にとっての礼器碑の爽やかさは、毎日通う武雄高校の、森林の中にいるような、澄んだ美しい空気のイメージと重なりました。音も色も香りもない半紙の上で、それをどう見せることができるか、深く考え、私なりに文字の研究をして書いたこの作品から、その空気感を感じていただけるとうれしいです。

昨年の冬、新しい古典の臨書に挑戦しようと思い、隷書の「曹全碑」の臨書を始めました。初めは隷書特有の波磔に苦戦しましたが、練習を重ねるうちにその伸びやかで気持ちのいい書に引き込まれていきました。礼器碑を書き始めてからは、この書を書かれた作者の方はどんな性格で、どのような思いをこの書に込めたのだろうと考えながら制作に取り組んできました。そのように考えるのもまた書道の楽しさだと思います。

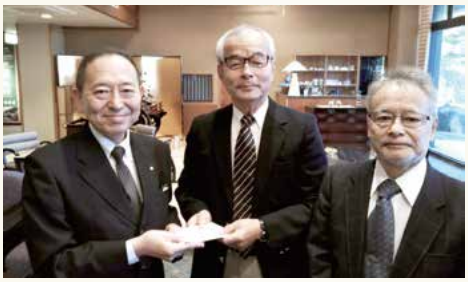
小学1年のときから、家の近くの書道教室に通い始め、字を書くことの楽しさを知りました。そのときから、墨の香りと程よい緊張感に包まれた環境で筆を持つことが大好きです。これまで、たくさんの方々に恵まれ、書道を続けることができています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。その気持ちを、書を通して伝えられるように、支えていただいたすべての方が私に与えてくださった経験を生かして表情豊かな字を書いていきたいです。

私にとって書道は、自分の心を映す鏡です。私の書道での課題は、普段の生活の中での私の課題でもあります。これからも自分と向き合いながら、書を学び、書で表現して、見た人の心を動かす作品を書けるように、これからも努力を重ねます。

（写真は東京支部より提供していただきました。）

古川　圓（まどか）さん

寄付をいただきました



○高３回 あじさい会様より
90,127円

○平成12～18年 武雄高校嬉野学友区保護者会様より
187,570円

○高14回様より　122,307円

がんばれ基金　全国大会出場お祝い

○本部より合計　132,000円
- 団体…弓道部女子、少林寺拳法部男子・女子、放送部（NHK放送コンテスト）
- 個人…陸上部、美術部、写真部、吹奏楽部、書道部、相撲（同好会）、囲碁（同好会）

○東京支部より其々へ金一封
- 団体…少林寺拳法部男子・女子、放送部（NHK放送コンテスト）
- 個人…陸上部、書道部

武高 NEWS

卒業生の進路状況について

進路指導主事　井手　崇裕

今春の入試に際しても、武雄高校生は果敢に志望校に挑戦し、見事な成績を挙げました。

主な入試結果については左表の通りです。京都大に現役生３名が合格。また、東京工業大１名、大阪大１名、九州大６名、国立大医学部医学科２名など、難関大学の狭き門を突破した生徒も多数おり、現浪合わせて合計１２９名が国公立大学への合格を勝ち取りました。

また、私立大学においては「早慶上理」「ＭＡＲＣＨ」「関関同立」といった名門大への合格者が合わせて31名。また、九州の雄「福大・西南」へも多数の合格者を出しました。武高の伝統を受け継ぎつつ、武陵会の先輩方に負けじと奮闘している後輩たちへの激励、応援を今後ともよろしくお願い致します。

令和５年度　大学等合格状況　（ピンクは過年度卒で内数）

国立大学		
筑波大学	1	
東京工業大学	1	
横浜国立大学	2	
京都大学	3	
大阪大学	1	1
島根大学	3	2
広島大学	7	
山口大学	3	
九州大学	6	3
九州工業大学	4	2
佐賀大学	25	1
長崎大学	13	
熊本大学	5	2
大分大学	4	
宮崎大学	4	
鹿児島大学	3	
その他国立大学	12	
合計	97	11

公立大学		
大阪公立大学	3	
山口東京理科大学	3	
下関市立大学	1	
北九州市立大学	5	
福岡女子大学	1	
長崎県立大学	12	1
その他の公立大	7	1
合計	32	2
国公立大学合計	129	13

私立大学		
早稲田大学	1	
慶應義塾大	1	
上智大学	1	
東京理科大学	2	1
明治大学	3	
法政大学	1	
立教大学	1	
関西学院大学	1	
関西大学	6	
同志社大学	2	
立命館大	12	
西南学院大	20	
福岡大	67	2
その他の私立大	157	4
私立大合計	275	7

その他		
防衛医科大学校	1	
中村学園短大	1	
佐賀女子短大	3	
好生館総合看護学院	7	
嬉野医療附看護	4	
佐世保市立看護	2	
武雄看護リハ	2	
その他	23	
その他合計	43	0

ー 武雄高校よりお願い ー　”ふるさと納税” で武雄高校にご支援ください

８月初旬、国立科学博物館が光熱水費の支援に特化したクラウドファンディングを実施したニュースがありました。実のところ本校も他所（よそ）事ではなく、光熱水費や物価高騰により運営費が逼迫（ひっぱく）し、従来の教育活動に支障をきたしてしまうのではないかと心配しているところです。

そこで、佐賀県では“ふるさと納税”で応援したい学校を指定して寄附ができる制度『県立学校応援プロジェクト』があります。本校の教育活動のため、この制度を活用して支援をお願いできればありがたく存じます。

お知り合いの方にこの制度をご紹介いただけると幸いです。

寄附のお申し込み

佐賀県 プロジェクト応援寄附

プロジェクト概要が知りたい方や個人の寄附はこちら

法人・団体の寄附はこちら

※分かりにくい場合は「**ふるさと納税お申込みフォーム**」で検索し、そのページに氏名等を直接入力していただくと後日「納付書」が郵送される仕組みになっています。

山口印刷株式会社

本社　〒848-0035　佐賀県伊万里市二里町大里乙3617-5
TEL. 0955-22-5188　FAX. 0955-22-5189
● 印刷ショップアリタ　● 武雄営業所　● 佐世保営業所
● 福岡営業所　● 唐津営業所

武陵会年会費振込に関してのお知らせ

同窓生のみなさまにおかれましては、日頃より武陵会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。恐縮ではございますが「武陵会年会費」納入のご協力をお願い申し上げます。ゆうちょ銀行又はコンビニエンスストアからの振込には会報誌同封の振込用紙をご利用ください。また、今年より、振込用紙のバーコードを読み込んで各種Payアプリによるお支払いができるようになりました。振込用紙についての詳細は「会費及び寄付者名簿」をご高覧ください。

おくやみ申し上げます

敬称略

令和4年1月
東島（野田）アキヨ（高女34回）
中山（山下）雅子（高女38準）
久保　幾甫（高3回）
岩永　剛（高4回）
水町（森田）比呂子（高6回）

令和4年2月
大塚（黒岩）和子（高女34回）
黒髪（樋口）アキ（高女36回）
廣田（廣田）絹子（高女36回）
永石（永石昭）雅章（中14回）
古川　裕生（中17回）
大串　道直（高3回）
山崎　睦子（高3回）
中村　美津子（高4回）
山下　能朗（高6回）

令和4年3月
馬場（鷲尾）恵美子（高6回）
宮原　正信（高8回）

令和4年4月
楠久（小川）信弘（併中1回）
高柳　誠（高14回）

令和4年5月
鶴崎（福田）滝江（高女33回）
宮原　公生（高1回）
西山　英雄（高2回）
高尾　彰（高21回）

令和4年6月
佐々木　英夫（中14回）
藤崎　源二郎（中17回）

令和4年7月
本吉（大宅）キクノ（高女34回）
渋谷　英雄（併中1回）
山口　隆敏（高19回）
岡田（馬渡）キサ子（高19回）

令和4年8月
本田　洋司（併中1回）
早田　道也（高3回）
内山　淳一（高6回）
古川　敏広（高10回）
越本　信夫（高17回）

令和4年9月
池田（緒方）マサ子（高女29回）
楢崎　隆治（高3回）
松永　作實（高3回）

令和4年10月
松林　直介（高4回）
池田　耕（高9回）
小田　勝弘（高9回）
樋渡　祐規（高9回）
江口　秀機（高11回）
馬渡　利幸（高19回）
丹羽（太田尾）初子（高24回）

令和4年11月
藤井　重孝（中13回）
百武　兼文（高3回）
松尾　佐太郎（高21回）

令和4年12月
平石（久島）敦子（高女37回）
藤本　一美（中12回）
田中　大典（中14回）
蒲地　靖（高4回）
北川　安民（高4回）
古庄　健介（高9回）
大宅　康弘（高37回）

令和5年1月
松尾（松尾）登喜子（高13回）
萬代（中川内）カツミ（高15回）

令和5年2月
江口　雅昭（高4回）
古賀　敏美（高9回）

令和5年3月
松尾　寛正（高9回）

令和5年4月
中島（水山）俊子（高女26回）
高島（山本）智子（高女31回）
田丸（野中）麗子（高女39回）
三船　英俊（高6回）
岩永　征男（高15回）
岡本　次秀（高29回）
中島　浩二（高29回）

令和5年5月
林　勤二（高2回）
山北（喜多）厚子（高15回）
中原　正敏（高18回）

令和5年6月
中村（平川）美代子（高女37回）
古賀　行雄（中12回）
植松　源八郎（高13回）
馬渡　康憲（高17回）

令和5年7月
光吉　貢（高2回）
松尾（浦川）喜八郎（高8回）

令和4年1月以降にお亡くなりのご連絡をいただいた方々を掲載しました。ご冥福をお祈りいたします。

編集後記

コロナ禍を乗り越え、4年ぶりに武陵会総会・各支部総会が開催されました。

久しぶりの対面での同窓会、紙面からも賑やかな笑い声が聞こえてくるようです。

「初めて参加したけど楽しかった、また来年も」と、そういう同窓会の和・輪が広がっていきますように。

今号より、会報誌宛名の下に卒業年（卒回）を記載しています。

医療法人 篠田整形外科
介護老人保健施設 コスモス
武雄市武雄町永島 13821　TEL.0954-20-1231
●入所　●短期入所　●通所リハビリテーション
●在宅介護支援センター　●居宅介護支援事業所
施設長 篠田　侃（高17回）　理事長 篠田　毅（高45回）

■印刷 / 山口印刷株式会社　佐賀県伊万里市二里町大里 3617-5　TEL0955-22-5188　FAX0955-22-5189　http://www.yamain.com/　E-mail:post@yamain.com